

## ANA アバター×ぶんかつアウトリーチプログラム

### 東京国立博物館と姫島小・中学校（大分県）を結ぶ遠隔授業を実施！

2020年2月13日（木）・2020年2月18日（火）

国立文化財機構 文化財活用センター〈ぶんかつ〉は文化財の複製品を活用した出前授業「ぶんかつアウトリーチプログラム」の一環として、アバター（遠隔操作ロボット）による遠隔授業を実施します。この事業は大分県などで行うもので、ANAホールディングス株式会社の開発したコミュニケーション型アバターロボット「newme（ニューミー）」が、大分県の離島・姫島の子どもたちと東京の博物館の研究員を結びます。アバターを使った遠隔地からの博物館鑑賞体験、文化財鑑賞プログラムの実施はいずれも初の試みとなります。



#### ぶんかつアウトリーチプログラムとは？

文化財活用センターが2019年度から取り組んでいる、高精細複製品を使用して、文化財に親しんでいただくためのプログラムです。教室やミュージアムなどいつもの場所で、国宝や重要文化財、海外の美術館が所蔵する名宝と向き合うことができます。2019年度は小・中学校を中心に、11件、約1360人の児童・生徒の参加実績があります。

#### ここに注目！初の試み

- ・ 姫島の子どもたちが、アバターを通じて東京国立博物館内を自由に見学。お互いの様子はアバターを通して確認でき、自由に会話することが可能です。
- ・ 国宝「松林図屏風」（長谷川等伯筆、原品東京国立博物館蔵）の高精細複製品を姫島の教室にデリバリー。アバターで大分の離島・姫島と東京国立博物館を結び、文化財の鑑賞やワークショップを行います。

## プレスリリース

### 実施日時・場所

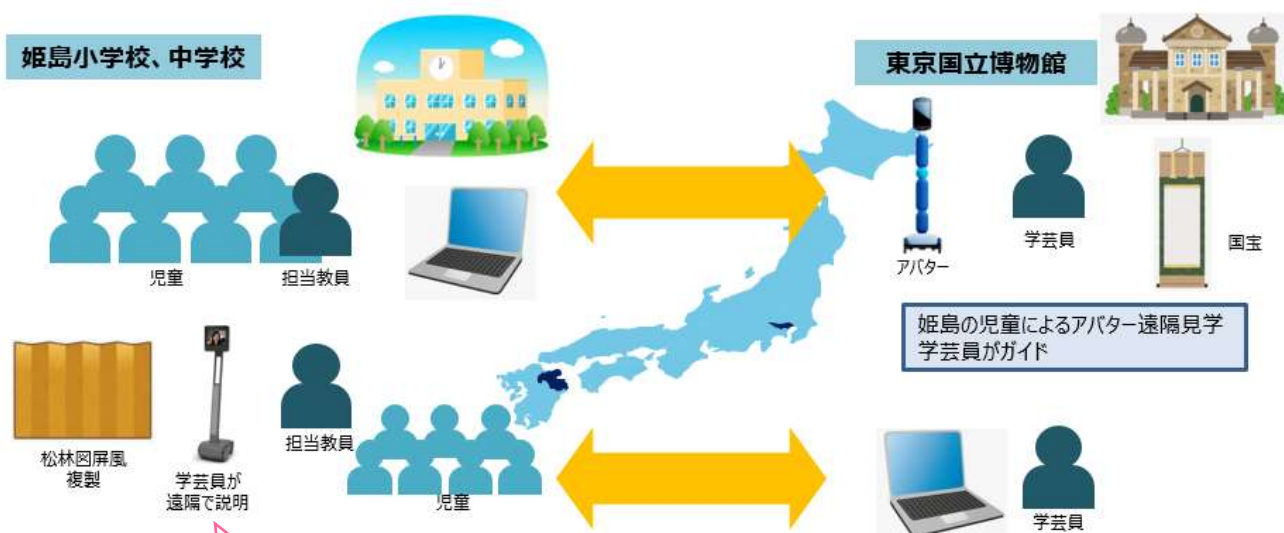
場所	大分県姫島村立姫島中学校 ↓ 東京国立博物館・文化財活用センター	大分県姫島村立姫島小学校 ↓ 東京国立博物館・文化財活用センター
日時	2020年2月13日(木) 10:40~11:30(中2)	2020年2月18日(火) ※計3回実施 ① 9:25~10:10(小1) ② 10:30~11:15(小2) ③ 11:20~12:05(小3)

※姫島中学校、小学校では全時間帯取材可、東京国立博物館では18日11:20~の回のみ取材可。  
※取材をご希望の場合は2月10日(月)17:00までにご連絡ください。

### 実施概要

パソコンによる遠隔操作が可能な移動・コミュニケーション型のアバター(ANAホールディングス株式会社提供)を使用して、東京国立博物館と姫島小・中学校を結び、子供たちがアバターを操作してリアルタイムで博物館見学を行います。また、〈ぶんかつ〉の研究者が東京国立博物館からアバターを通してアウトリーチプログラムを実施します。

姫島からのアバター操作で東京国立博物館内をリアルタイムで見学。  
現地の職員と会話しながら自由に動き回ることができます。



アバターを通じて、文化財活用センター研究員がワークショップを実施。  
教室に設置された国宝「松林図屏風」(長谷川等伯筆)の高精細複製を間近で鑑賞します。(実施プログラム:自分だけの松林図屏風を作ってみよう!)

## プレスリリース

### 大分県におけるアバター活用の取り組み

大分県では、距離の壁を取り払うアバター技術が、教育、観光や産業の人手不足等様々な分野での課題解決に繋がるのではないかと考え、ANA ホールディングス株式会社等との連携により、将来的な社会実装や、本県経済を牽引する新産業の創出に向け、様々な分野での実証実験や、新たなアバターの開発に取り組んでいます。

### 教育分野における活用事例

- ・大分県内の3つの小学校と大分県立美術館（「海と宙の未来展」JAXA 等関連イベント）やJAXA 筑波宇宙センターを繋ぎ、アバターによる遠隔社会見学を実施（2018年10月4日、同月11日）
- ・大分県立別府支援学校と日本科学未来館（東京都）を繋ぎ、アバターによる遠隔社会見学を実施（2019年1月21日）
- ・大分大学医学部附属病院に長期入院中の高校生がアバターを介して登校。同級生や部活の仲間、教員等と復帰に向けて交流（2019年9月）

### ANA アバターとは？

ANA ホールディングス株式会社が開発した遠隔操作ロボット「ANA アバター」は、距離、身体、文化、時間、あらゆる制限を超える瞬間移動手段です。

VR、ロボティクス、センサー、ハプティクス（触覚）等、最先端のテクノロジーを用い、異なる複数の場所に設置したアバターロボットによってあたかもそこに自分自身が存在しているかのようにコミュニケーションや作業を行えます。

newme(ニューミー)は、ANA ホールディングスが独自開発したコミュニケーション型アバターロボット。

2020年夏までに1,000体導入を目標としており4月からの事業化に向け様々な分野で検証を続けています。参考) <https://avatarin.com/avatar/>



### 主催

大分県、大分県教育委員会、姫島村、姫島村教育委員会、東京国立博物館、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団、大分県立美術館、ANA ホールディングス株式会社

本件についての取材・お問い合わせ

(東京国立博物館での取材・ぶんかつアウトリーチプログラムについて)

**国立文化財機構 文化財活用センター 企画担当 小島・松沼**

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 東京国立博物館東洋館 5階

TEL : 03-5834-2856(直通) E-mail : [cpcp@nich.go.jp](mailto:cpcp@nich.go.jp)

(大分県姫島での取材・アバター活用の取り組みについて)

**大分県商工観光労働部情報政策課 IT 戦略推進班 阿部・高倉**

TEL : 097-506-2063 E-mail : [takakura-keiji@pref.oita.lg.jp](mailto:takakura-keiji@pref.oita.lg.jp)